
雨ならぬスーパ降って地が固まるのこと

サガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨ならぬスーパ降って地が固まるのこと

【Nコード】

N0337H

【作者名】

サガ

【あらすじ】

恋姫無双の短編で一刀×詠です。

(前書き)

キャラが違うかも知れませんが、ご了承ください

いつもと変わらないハズの爽やかな朝の事だった。

「うーん……なんか変だな、何かあったか？」

幽州の太守・北郷一刀は朝から家臣の皆の様子がどこかおかしいとは思っていた。

「そーいや今日はあの日だったか、忘れてた」

思考を巡らせてはいたが今日が『詠の月に一度、超絶不幸体質が発動する日』だった事に気付いたのは朝食の時に詠が持って来てくれた熱々のスープを頭から被った後だった。

「やれやれ、朝から俺もツイてないな……詠の奴気にしてないといけど……」

医務室から自分の執務室へ戻ると部屋の前に詠の姿を見つけた。

「詠？」

「あ……」

とりあえず詠を部屋に入るといつもはケンカばかりしている相手である一刀と言ってもやはり気にしていたらしい。

「あ……そのゴメン、大丈夫だった？」

「ああ、特に火傷もなかったし……あんま気にすんなよ」

『大事を取って』と愛紗から今日は休みにされてしまったが実際は本当に大した事はない。

「そう……だったらもう行くわ」

「え、もう行くのか？」

愛紗に聞いた話では先刻の一件から詠も月と一緒に朱里から休みを貰っていた筈だ。

「今日は……いつまでもボクといた方がいいよ」

そうは言ってもどことなく寂しそうな詠を見た一刀はふと思った。

『月に一日とは言っても何回こんな近くに誰もいない、一人ぼっちの日を過ごしたんだろう？』

「じゃあ……」

「ま、待った！」

思わず手を取って出て行くところとする詠を引き止めてしまっ、そして……

「俺が側にいるよ」

「はっ」

気付いた時にはそう言っていた、詠は驚いたのと『何を言ってるんだコイツは?』と言った感じの表情を一刀に向けている。

「ど、どー言う意味よ?」

「だからさ、今日一日俺が詠と一緒にいるよ……月の代わりになれるなんて思っていないけど、一人って寂しいだろ?」

巻き込むのが嫌だから親友で、大好きで、いつでも一緒にいたい筈の月が側にいない。

そんなの寂しいに決まってる、しかし……。

「さ、寂しくなんかないわよ! たった一日位なんともないし、こんなのもう慣れたわよ」

当然自分の弱みを簡単に晒さない詠は強がってみせるが一刀は構わずに言葉を続ける。

「たった一日されど一日、人つてのは寂しさに慣れる事なんて無理だと思う……だから俺が側にいる、不幸なんて俺には無縁だしね」

「なんでよ?」

訝しげに聞いて来る詠に一刀は優しく笑いかけた。

「……詠が好きだから」

「へっ?」

「詠が好きで、詠の側にいれる事が俺にとってこれ以上ない幸せな

んだ、多少の不幸なんか目じゃないさ」

「……………あんだ、ばか？」

『鳩が豆鉄砲を喰らった』ような表情から冷静さを取り戻した詠の悪態が返ってくるのは想定内の範囲内。

それこそが詠の照れ隠しだと一刀には分かっていたからだ。

声音や耳まで赤くして視線を反らしている事が充分にそれを証明していた。

「バカでもいいさ、詠が好きなのがバカって事なら俺は袁紹をも越えた三国一の、無双のバカでいい」

そう言って詠を優しく抱き寄せると詠も一刀の胸に顔を埋めた。

「あんだ、ホントにそれ位バカよ……………ホントにバカ」

悪態をつく詠、しかしその最後に一刀だけに聞こえる程の音量で『ありがと』と呟くのを聞いて一刀は三国一の幸せを感じていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0337h/>

雨ならぬスーパ降って地が固まるのこと

2010年10月15日22時52分発行